

AYA WEEK GIFU 2023

合同シンポジウム

がん教育はご存じですか？

「がん」の正しい知識といのちの大切さを知る

2023年3月5日(日) 13:00~15:00

みんなの森ぎふメディアコスモス

1階 考えるスタジオ

対象：

一般の方（小学生以上のお子さんをお持ちのご家庭、小中学生、高校生）

がん教育にかかわる学校、教育関係の方

外部講師となる医師、医療従事者、がん経験者の方

WEBでも参加可能です！！

事前参加登録制



登録メールアドレス
に後日、参加URLが
届きます

日本では、毎年100万人の人に新たにがんが見つかり、30万人の方ががんで亡くなるという、日本人最多の死因です。生涯で2人に1人はがんになるとされており、「最も身近な重大病」といえます。

その中で、2020年から全国すべての小学校、2021年には中学校、2022年から高等学校で「がん教育」が始まっているのはご存じでしょうか。子供たちは、がんの正しい知識を得ることによって、がんになりにくい生活習慣や身体作りにつながります。さらにがん検診などによる早期発見や標準治療を学び、将来のがん発生率を抑えることが期待されます。それだけでなく、「がん年齢」を迎える身近な家族とがんについて話すきっかけになることでしょう。

今回は、岐阜県で「がん教育」に積極的に取り組んでいる教育関係、医師の方から、お話を聞ける貴重な機会です。

「岐阜県におけるがん教育の取り組み」

岐阜県教育委員会 体育健康課 教育主管 中村康男 様

「小児AYA期におけるがん教育の重要性について」

岐阜大学医学部附属病院小児科 臨床准教授 小関道夫 医師

「西濃地区におけるがん教育の取り組みについて」

大垣市民病院呼吸器内科 副院長 進藤 丈 医師

がん教育授業のデモンストレーション

(実際に行うがん教育の授業を短縮して行います)

○小関道夫医師 ○あけぼの岐阜 代表 橋渡智美 様

パネルディスカッション（これからのがん教育についてみんなで考えます）

主催：AYA WEEK GIFU 2023

共催：岐阜大学医学部附属病院 岐阜県教育委員会 あけぼの岐阜（乳がん患者会）

お問い合わせ先：岐阜大学医学部附属病院小児科 小関道夫(michioo@gifu-u.ac.jp)

